



医療総合支援機構タイムス

発行: 医療総合支援機構 / 〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室 電話 080-2658-4749



医療総合支援機構タイムス 第7回 対談

医療現場におけるコーチングの魅力



一般社団法人医療総合支援機構
理事・人財育成コーチ

藤倉 真紀子

Makiko Fujikura

一般社団法人医療総合支援機構
代表理事

小倉 真治

Shinji Ogura

一般社団法人医療総合支援機構
理事・人財育成コーチ

井上 清美

Kiyomi Inoue

医療総合支援機構タイムス 第7回 対談

医療現場における
コーチングの魅力

ゲスト

一般社団法人
医療総合支援機構
理事・人財育成コーチ

藤倉 真紀子

一般社団法人
医療総合支援機構
代表理事

小倉 真治

一般社団法人
医療総合支援機構
理事・人財育成コーチ

井上 清美



3人の出会いについて

小倉 実は藤倉さんと私は幼稚園、小学校、中学校の同級生なんです。

藤倉 当時は優しいイメージで大人しかったという印象ですね。

小倉 卒業して40年後の55歳の同窓会で再会しました。前年に岐阜大学医学部附属病院の病院長になり、「理想的な病院にするにはどうしたらいいのか」を考えていた時、藤倉さんがコーチングのコーチをしていることをお聞きし、「渡りに船」だと思いました。

藤倉 小倉先生から「大学病院にコーチングを取り入れたい」とお聞きして、『エクセレント・ホスピタル』という本をいただきました。私自身は子育てや教育関係のコーチングをしていましたが、長年親交のある井上さんが医療現場でコーチングの専門家として活動されていたので、おつなぎしました。

井上 20年ほど前、生涯教育の機関でコーチングの講師をしていた時に、藤倉さんが受講してくださり、それをきっかけに今日までつながっています。私自身は、医療現場でのコーチングに興味があり、中規模病院のサポートをしていた頃でした。

小倉 大学病院の印象はいかがでしたか。

井上 外から見ると、非常にハードルが高かった印象がありました。同時に、地域の拠点でもあり、後進の育成にも力を入れているので、やりがいも感じました。

大学病院でコーチングを導入

小倉 大学病院でコーチングを取り入れようと思った

きっかけは、医療現場は多職種のチームであるものの、それぞれが個々の立場で主張し合い、「理想と違う」と感じていたからです。「このギスギスした雰囲気を変えられたら」と思っていました。また、患者さんに最も接する機会が多いのは看護師ですが、愛想が良いとは決して言えませんでした。何を改善したら良くなるのかを考えていて、マイナスがプラスに転じればという「ワンチャンうまくいったらいいな」ぐらいの感覚でした。

藤倉 まずは患者さんというより、病院内に関心を寄せるというのが大事ですね。

小倉 お二人にお渡しした『エクセレント・ホスピタル』はメディカルコーチングを取り入れていて、まさに病院経営のバイブルのような本でした。アメリカの成功事例ではありましたが、日本でしかも国立大学病院という悪条件下でも、できるのであれば、やってみたいと思っていました。

井上 打ち合わせに何った時に、すごく印象に残っていることがあります。看護部長さんが「(コーチングは)患者さんに向けての看護師のコミュニケーション向上にならないですか」と言われると、小倉先生は「CS(顧客満足度)よりはES(従業員満足)だろう」と話され、「患者さんへのコミュニケーションの質を上げたいのであれば、まずは院内の職員のコミュニケーションの質を上げる方が先だろう」とおっしゃったんですね。私はとてもうれしくて。

小倉 患者さんへの対応の研修は、「接遇」になりますが、接遇を良くするために、どれだけそのスキルが上がっても、機嫌の良くない顔では本質は何も変わりませんからね。

井上 コーチング教育をビジョンの1つに立ててくださり、その後、科長会(臨床教授会)で承認が得られると、すぐにホームページに反映されました。病院の方向性が明確になり、職員の皆さんにも浸透しやすいと思いました。

小倉 私にとって当たり前のことで、やると決めたら、その方針を明確にただけですね。

井上 さらに、小倉先生は1年目のコーチング研修に出席されました。公言するだけでなく、体現してくださいました。「最高の病院にする」という非常に力強い意志が伝わってきました。

早い段階から強みを見つける

小倉 実際、医療現場に携わり、どのような印象を持ちましたか。

井上 医療従事者の皆さんは、人の命や人生にすごく大きな影響を与える仕事に就かれ、高い誇りを持っている方が多いと思いました。理想が高い分、現実とのギャップに苦しんでいる方が多いと感じました。

小倉 課題はどのように感じましたか。

井上 日本では全体的に「管理職になりたくない」症候群が蔓延しているようにみえます。「上司が楽しそうではないから」「しんどそうだから」というのが主な理由ですが、中間管理職の苦しみは、現代社会の大きな課題でもあります。医療従事者の場合、「患者さんを診たいから、マネジメント業務に時間と労力を費やされるのは嫌だ」という声をよく耳にします。

小倉 自分がうまくいかないことを、患者さんを盾にした言い訳だと思います。管理職の仕事次第でチームは良くなります。まさにESがしっかりできればCSができます。



藤倉 管理職になりたくない、プレイヤーでいたい方に、小倉先生はどのように対応されたのですか。

小倉 そのままプレイヤーで置いておきました。マネジメント能力が高い人と、教育研究臨床という現場で力を発揮する人は必ずしも一致しないからです。

井上 早い段階から観察し、強みを見つけ、育成するというプロセスが必要ですね。

藤倉 そういう意味では、小倉先生がされていたラグビーにも通じますね。

小倉 ワンフォーオールオールフォーワン。体が大きければいいというわけではなく、小さくてもすばしこいなどいろんな人が集い、その強みを生かすという意味で、まさにコーチングに共通していますね。

コーチングの基本は「GROWモデル」

小倉 改めてコーチングの基本は。

井上 GROWモデルというフレームワークがあります。Gはゴール。まずはゴールや目的を明確にするところから、Reality(現状)を分析し、そのギャップを客観的に見て、どのように埋めていくかを考えます。そして未来に向け、選択肢を挙げて具体的行動を計画していくというポジティブな対応を進めていきます。どうしても現状にフォーカスされがちですが、課題というのは、すでに起きてしまった「過去」です。原因の追求にいつまでも時間を費やしていると、そのうち犯人探しが始まります。そういう流れが、部門間の溝につながってしまうこともあり、徒労になります。そうではなく、「どうになりたいか」というように、未来志向につなげていくのがコーチングの一つの醍醐味です。

藤倉 一般的には「問題を解決しなくてはいけない」と考えますが、私は「課題があるだけ」という視点で見えています。未来に向け、目標を達成するための課題だと捉えています。一言の違いですが、そのような視点で見えていくと、解決しやすいと思います。同様に「反応」と「対応」も、無意識に反応していくのではなく、意図して方法を考えて対応していくということも大事であると思います。

藤倉 小倉先生は早くからGROWモデルのような発想をお持ちで、実践されていましたね。

小倉 学ぶ前からそのように想像していましたが、実際にコーチングに出会い、確信に変わりました。

コーチングは継続が重要

小倉 医療者が医療者を評価する時に、長所を見つける人と短所を見つける人がいますが、短所を見つけて叱るチームが多く、そのチームは伸びていないですね。コーチングを取り入れて継続していくことの利点はどのようにお考えですか。

藤倉 多少の欠点があっても、長所を伸ばしてチーム全体が伸びていくことが大切です。医療の現場では、まず課題を見つけ、次に解決するという思考回路の人が多くと思います。できているところをしっかりと見て、「褒める」とか「承認する」というのは、意識しないとなかなかできないと思います。



井上 近年、「心理的安全性」という言葉がパワーワードになっています。組織の中で自分の考えや気持ちを、誰に対しても安心して発言できる状態を指しますが、「自分の長所を知ってくれている」「お互い認め合える」という組織文化があるところは、心理的安全性が高い組織です。医療の基本は「安心・安全」がビジョンに入っているのも、親和性が高いと思います。

小倉 どこの病院も「安心・安全」をうたっていますが、具現化している内容を答えられる病院長はほとんどいないのが実状です。また、組織論の視点から言えば、組織は手を入れないと、あっという間に劣化していくと思っています。そういう意味では、コーチングを実施するのであれば、少なくとも3年は継続して行い、個々が成長する過程をしっかりと見たいと考えていました。

井上 細くてもいいので、長く継続していくことが大事

ですね。組織内で共有した「共通言語」をずっと忘れないように、使い続けるキーパーソンのような人がいて、仕組みを作っておけば、人が入れ替わっても継続していきます。コミュニケーションはずっとついて回りますからね。

藤倉 医療関係であれ、家族の人間関係であれ、何事においても、個々の良いところを見つけ、承認しようという気持ちが意識の中に入っていると続いていけると思いますね。

違いを尊重し、相乗効果を生み出す

小倉 人を生かすチーム作りで重要なことは。

井上 チーム医療の中で信頼関係を構築し、チーム力をアップするというのが、一番大きな意義があると思います。医療のチームは、異なる専門性を持った多職種で構成されています。どうしても違う価値観や信念を持っているため、患者さんへの治療方針やケアの方法で対立することが多々あると思います。病院内の考え方の違いになると、さらに深刻です。

小倉 コロナの時には、多くの病院で膿が全て出ましたね。

井上 双方向のコミュニケーションによって、どういう立場や状況で、どういう目的であるのかということをよく対話し、理解し合い、尊重し合うことで、チーム内の信頼関係が構築されていきます。そうすると、異なる専門性があるからこそ、相手の強みを引き出し、掛け合わさって相乗効果が発揮され、チーム力が最大化します。そういうコーチングを目指しています。

小倉 違いを尊重して強みを生かすことは育成にも大きな影響がありますね。

井上 医療は、地域の中で持続可能でなければなりません。そのためにも育成は必要であり、コーチングを活用することで、部下の気づきと意欲を引き出し、主体性を育てながら成長を促していくことができます。

小倉 コーチングには、願望実現と問題解決があると思いますが、組織における人育てでは、どのようなアプローチが生きてきますか。

藤倉 その人の特徴を表すアセスメントには、自分で決めたいタイプ、感謝されたいタイプ、黙々と分析してから決めたいタイプなどさまざまです。決めつけるのではなく、傾向を見ながら、アプローチの仕方を考えるというのを意識すると、人間関係が改善することもあると思います。



井上 言葉を変えると、ビジョン型と価値観型といえます。ビジョン型は、未来に向かって目標を決めてコミュニケーションを進めていくタイプで、GROWモデルに近い考え方。価値観型は目の前のことをコツコツ積み重ねていくタイプ。日本人は価値観型の人が多いですね。価値観型の人は目標や夢が立てにくい傾向にあります。その場合、明日、1週間先など、短い期間の目標を設定してアプローチするようなやり方をします。技術者も多い傾向がありますね。

小倉 そう言われると、私はビジョン型ですね。

井上 医療従事者には珍しいタイプですね。ドクターは研究肌でもあり価値観型の方が割と多いですからね。

小倉 確かに、多くの医療従事者はプレイヤーとして、今何をすべきかというのに集中していますからね。

井上 経営者やリーダー的なお仕事をされている方はビ

ジョン型が多いですね。価値観型の方も「こうありたい」という思いがありますので、じっくりとお話を聞いていく中で、潜在的に持ってらっしゃる思いを引き出していきながら、目の前の目標から少しずつスパンを広げていくというように、継続して関わりながら対話を重ねていくということが重要です。

見守りながら育てる

小倉 コーチングにおける人育てで大切なポイントは。

藤倉 ある程度年齢や経験を重ねていくと、キラキラしたものが見えてきます。個々が輝いているところを見つけ、その特徴を生かすことが大切。まさに見守りながら、育てるサポートが大事ですね。

井上 コーチングマインドに「あるものに目を向ける」という言葉があります。「この人が持っているものはなんだろう」と、その人の良さを見つけるまで探求していくことを一番意識しています。「誰にも絶対輝くものがあり、ダイヤモンドがある」。そう信じて見つけ出す宝探しみたいな視点が大事ですね。コーチングのGROWモデルを活用し、臨む未来へのロードマップを対話により描き出し、効果的に行動につなげていけることを願っています。

小倉 一人一人が育つのを邪魔しないことを意識してきましたが、お二人のお話をお聞きして、自分の中でも確信になっていなかったものが、もう一度確信になったという感じを持っています。これから私自身も頑張りますし、お二人も益々、人育てに尽力いただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。



＋ 新規会員紹介

新たに入会された医療機関をご紹介します

いのうえ小児科クリニック

当クリニックは2000年4月に開業し私は2017年から院長を引き継ぎました。現在2人体制で小児科とアレルギー科の専門医として診療しています。

羽島市には小児科単科を専門とする診療所が少ないことから一般小児科診療を広く行っており、重症疾患や難治性疾患の患児を診療する機会も比較的多くあります。適切なタイミングで適切な高次医療機関へ紹介する円滑な医療連携も当院の重要な役割と認識しています。一方アレルギー疾患に対しては詳細な病歴聴取と各種検査結果の分析を基に適切な治療提供を心がけています。スギ花粉症およびダニアレルギーに対する「舌下免疫療法」や食物アレルギー児に対してアレルギー食物を少量ずつ食べさせて治療する「経口免疫療法」にも取り組んでいます。

各種予防接種や健診への参加を通じて地域の子どものための健康増進に努め、患児たちが病気から早くもとの健やかな生活を取り戻すための質の高い医療を実施できるように取り組んでいきたいと考えています。

【職歴】

岐阜大学医学部卒業 岐阜大学医学部小児科研修医
市立長浜病院、県立下呂温泉病院 小児科医師
県立岐阜病院(現岐阜県総合医療センター)新生児科医長
岐阜大学医学部附属病院小児科病棟医長 アレルギー免疫疾患担当
西美濃厚生病院小児科部長
いのうえ小児科アレルギー科クリニック院長

【座右の銘】 人事を尽くして天命を待つ

【趣味】 ●ゴルフ ●犬と一緒に散歩、旅行

院長 伊上 良輔 先生



編集キャッチ

院長先生はとても穏やかで親しみやすく、診察から治療、そしてお子さまとご家族への細やかな配慮まで丁寧に対応されています。院内は清潔感があり、明るく開放的な雰囲気、感染対策も徹底されています。お子さまに優しい設備が整えられており、安心して通うことができます。



いのうえ小児科クリニック

所在地／羽島市竹鼻町孤穴1093-1
電話／058-392-8808
FAX／058-392-8681
診療時間／9:00～12:00、16:00～18:30
休診日／木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

山中ジェネラルクリニック

当院は地域の皆さんに気軽に足を運んでいただける総合クリニックであり、有床の救急指定診療所としても重要な役割を担っています。24時間365日体制で、軽度から中程度の急性症状を持つ患者さんに迅速に対応できるよう、風邪や軽い外傷、軽度の腹痛などにも常に対応可能な体制を整えています。これにより地域の医療インフラを支える大切な拠点となっています。さらに、隣接する提携施設特別養護老人ホーム「サンライズ長良」と連携することで、患者さんは治療と生活支援が途切れることなく、一貫した最適なケアを受けることができます。医療と介護のシームレスな連携により、患者さんにはより安心感を提供でき、質の高いケアを実現することが可能です。今後は、内視鏡センターの開設やパワーリハビリテーションの導入に加え、訪問看護・訪問リハビリにも力を入れ、地域住民の皆さまにとってさらに役立つクリニックを目指していきます。

【略歴】

川崎医科大学卒業
東京女子医科大学 救急医学講座 救命救急センター入局
東京女子医科大学附属病院 救急科・整形外科講座助手
松波総合病院 整形外科・救急部部長・外傷センター長
表彰東京消防庁 川口市消防本部 大垣市消防本部より
人命救助に対し受賞3回

【診療科】

内科・外科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科・救急外来・往診・在宅医療

【座右の銘】 至誠通天

【趣味】 ●スキー ●ギター ●旅行 ●ドライブ ●読書

院長 山中 一輝 先生



編集キャッチ

「with smile」を掲げて、山中先生をはじめ、スタッフ全員が素敵な笑顔で温かく迎えてくれました。館内は清潔感にあふれ、広々とした空間が印象的で、従来の病院のイメージとは一線を画しています。インテリアや色使いにこだわりが感じられ、細部まで心が込められた素敵なクリニックです。



山中ジェネラルクリニック

所在地／安八郡安八町森部1870番地1
電話／0584-63-2333
診療時間／8:30～12:30、16:00～19:00
休診日／木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

＋ 医療会員紹介

医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

石木クリニック

院長 石木 佳英 先生

私は、患者さんのニーズにこたえられるような診療をしていきたいいつも思っています。

その中でも特に、内視鏡診療をメインにおこなっており、胃や食道などの上部内視鏡検査は月におよそ120件、大腸内視鏡検査は30件行っています。在宅患者さんも現在15名ほどの担当しており、在宅での看取りも行っております。他にも禁煙治療、睡眠時の無呼吸症候群の簡易的な検査、AGA「男性型脱毛症」の診療も行っており、あらゆるニーズにお応えできるよう取り組んでいます。

「オンライン診療」ではなく、しっかりと対面で話をし、聴診器をあてたり、お腹を触ったりと、患者さんの状態を判断し、そのうえで必要に応じて検査を行っています。

患者さんにいい医療を提供するためには、職員が楽しく仕事をしていなければなりません。年一度は2泊で職員旅行へいきます。春、夏、秋には1日休診日にして遠足にいきます。

職員一緒になって「一生懸命働き、一生懸命遊ぶ」をモットーに日々頑張っています。



◆石木クリニック

所在地／関市西本郷通3-7-41
電話／0575-23-7455
FAX／0575-23-7455
診療時間／9:00～12:30、15:30～18:30
休診日／木曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

おおのレディースクリニック

院長 大野 元 先生

モットーは「一日ひとり、不妊治療にて人口を増やしたい」

当院では、できるだけ早く、身体に優しい治療で妊娠することを最優先しています。

そのため、一般的な「ステップアップ治療」は行っていない。「必要以上の検査」も行っていない。きちんと排卵があるのに、排卵誘発剤を使う意味はあるのでしょうか? これらを考慮しないで、教科書的に、漠然とステップ治療をすることで、無駄に時間を費やしてはいないでしょうか?

より早くママになるために何をすべきか? 妊娠できないことに対する苦悩をいかに早く取り除くことができるか? 私たちは、患者さまの希望を優先しながら、最も高い治療を、できる限り軽減して提供しています。

当院の診療券を見てください。休診がありません。排卵はお産と同じように、いつ起こるかわかりません。それを考えると休んでいられません。

岐阜周辺の人口を増やしたい。私たちは常に患者さまの幸福だけを願っています。



◆おおのレディースクリニック

所在地／岐阜市光町1-44
電話／058-233-0201
FAX／058-232-7148
診療時間／9:30～12:30、16:00～19:00
休診日／土曜日、日曜日午後

おおすきクリニック

院長 大瀧 祐己 先生

2023年5月1日に開院し「総合診療所」として小さなお子さんから高齢の方まで地域に根ざしたかかりつけ医として、皆さんが健康で笑顔になれる医療を提供します。総合医療の窓口として小さな病気から大きな病気で、早期発見・早期治療・予防医療の役割を担うクリニックです。何科を受診していいかわからない場合や少しでも不調に感じる事があればいつでも気軽に相談下さい。どんな疾患でも戻込みするような症例でさえ逃げることなく治療します(診療割合／総合内科4、集中治療4、救急2)。今後の目標としては、診療看護師を採用し、治療対応の拡大を目指していきたいと考えています。大学院で学ばなくても当院で勉強できるよう、診療室を設け、教育できる環境づくりにも力を入れてきたいと思っています。そして一人一人の疾患や背景にあわせて、一緒になって方針を考え、治療を行っていききたいと思ひます。



◆おおすきクリニック

所在地／一宮市今伊勢町馬寄字北塚本1-1
電話／0586-82-8232
診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00
休診日／木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

かとう耳鼻咽喉科サージクリニック

院長 加藤 雅也 先生

大病院勤務医時代の経験を活かし、特に手術を含めて質の高い医療を提供していきたいと思っています。

広範囲な耳鼻咽喉科疾患に対応できる医療施設であり、これまで中耳炎手術を中心に取り組んできた経験から、手術はもちろんのこと、可能な限りここで完結できるような治療を努めています。それだけではなく、幼少期から岐阜で過ごしてきた人的ネットワークから、近隣の病院との深いつながりをもつことで、より良い医療が行えるよう心がけています。

耳鼻咽喉科疾患のみならず、困ったことやご相談がありましたら、気軽に当院へ足を運んでください。

【得意とする疾患】

- 中耳炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、蓄膿症(慢性副鼻腔炎)、鼻出血、めまい、難聴、睡眠時無呼吸症候群など
- アレルギー性鼻炎に対するレーザー治療可能
- 耳鼻咽喉科(耳・鼻・のど)の病気全般
- 画像ファイリングソフトを導入、顕微鏡やファイバースコープ(耳・鼻・咽・喉頭の画像)所見、デジタルレントゲン、各種聴力検査などを供覧



◆かとう耳鼻咽喉科サージクリニック

所在地／各務原市蘇原花園町1-57-1
電話／058-389-8733
FAX／058-389-0404
診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00
休診日／水曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

＋医療会員紹介

医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

岐阜清流病院

理事長 名和 隆英 先生

「笑顔で生きて、笑顔で死にたい」

大多数の方の願いではないでしょうか。清光会は地域の皆様のそんな願いが叶うよう、ありったけの努力、心遣いをします。

急な病気にかかってしまった時、病気はよくなったけど動けなくなってしまった時、ご相談下さい。元氣になっていただけるよう全力を尽くします。高齢のご家族の方が弱ってきたと感じられた時、弱られた時、ご相談下さい。ご本人とご家族の希望が叶うようサポートをさせていただきます。

最期を迎えられる時、ご相談下さい。一生で大切な時間をより良く過ごしていただけるよう、寄り添います。医療・介護を通じ、地域の皆様に「笑顔あふれる暮らしをお届けします。」これが清光会の理念です。

皆様に笑顔になっていただける、気軽に使っていただける、地域に根差した法人でありたいと思います。

何卒、よろしくお願い申し上げます。



さくらクリニック

院長 佐竹 真一 先生

当院は、胃・大腸の内視鏡検査がセールスポイントであり、同日に両検査を実施することができるのも魅力の一つです。大腸内視鏡検査では、下剤を飲んだ後の待ち時間を個室で過ごすことができます。個室は全4部屋あり、トイレやテレビ、ソファ等も完備されており映画鑑賞もできます。なるべくリラックスして患者さんの緊張を和らげる空間づくりを心掛けています。先進医療機器の導入・検査を行うことで、早期に小さな病変を発見することができます。他にもエコーやCTなどの導入により高いレベルで検査を行うことができます。

専門分野だけではなく、風邪などの内科や小児科など、幅広い診療に対応しておりますので、まずは気軽にご予約・ご連絡いただければと思います。



＋医療会員紹介

医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

東海中央病院

病院長 藤原 道隆 先生

公立学校共済組合が設立した全国8カ所の病院のひとつで、東海地方の教職員の健康管理を担うとともに、地域住民の方々にも開かれた病院として市民医療センターの役割も担ってきた半公的な病院です。近年、医療機関の経営状況の悪化が顕著になっていますが、とりわけ当院のような中規模の病院は苦しい状況で、医療政策的にも存在意義を問われていると言っても過言ではありません。今後、地域の医療センターとしても職域健康センターとしても、当院の役割、位置づけを再検討しながら、立て直しを図っていきます。「公園都市」各務原において、医療センターとしての機能のみならず、市民の皆様のウェルビーイング支援機能も重視し、私が名古屋大学で進めてきた「アート&デザイン+VRと医療」を取り入れ、日常から親しみを持って利用していただく「公園公共施設」に整備する構想を進めてまいります。



まついファミリアクリニック

院長 松井 聡 先生

当院の前身、まつい小児科・小児外科医院は、数多くのお子様を診療し、小児医療を通じた地域貢献を果たして参りました。

昨今少子高齢化が一層進み、小さなお子様のみならず、ご高齢の方まで幅広くサポートできる診療所に変わるのが望ましい時代となり、より全人的な医療が提供できるクリニックへと進化すべく、2020年2月よりまついファミリアクリニックと名を改め、新築リニューアルオープンいたしました。

父子2人3脚で近隣、岐阜地域のお子様からご高齢の方に至る全ての方の“かかりつけ医”として、専門病院との架け橋となる“ゲートキーパー”として、地域医療に貢献して参ります。

小児診療はこれまで通り、一般内科外科診療もしっかりと行っており参ります。わたくし個人といたしましても、父の意思と信条を受け継ぎ、小児診療を大切にしつつ、これまで岐阜大学病院や市内の中核病院、名古屋のがん専門病院で外科医として小児医療から高齢者医療まで幅広く経験したことをもとに、総合診療医として地域の皆様に父とともに医療貢献できればと思っております。お困りの際は当院へなんでもお気軽にご相談ください。





◆社会医療法人 清光会 岐阜清流病院

所在地／岐阜市川部3-25

電話／058-239-8111

FAX／058-239-8216

診療時間／9:00～17:00

9:00～12:00(土曜日)

休診日／土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始



◆さくらクリニック

所在地／瑞穂市稲里689-3

電話／058-325-0570

診療時間／9:00～12:00

16:00～19:00

休診日／木曜日午後、日曜日、祝日



◆東海中央病院

所在地／各務原市蘇原東島町4-6-2

電話／058-382-3101

診療時間／8:30～11:30

休診日／土曜日、日曜日

祝祭日、年末年始



◆まついファミリアクリニック

所在地／岐阜市福光東3丁目9番の7

電話／058-233-2345

診療時間／9:00～12:00

16:00～19:00

休診日／土曜日、日曜日

祝祭日、年末年始

白井病院(眼科専門病院)

(右)理事長 白井 義人 先生 (左)病院長 宇野 俊彦 先生

病院の財産である「人」を一番に大切にしています。

「人」に関しては定数にとらわれず、当院にとって必要とする人材であれば定数を超えて積極的に採用しています。業務のパフォーマンスを上げるためには、一人ひとりに余裕がないと質の高い仕事をしたり、良好な人間関係を築き上げたりすることが難しくなります。

また、人材育成には特に力を入れており、中途採用であってもチューター制度を取り入れ、当院の業務にフィットするまでバックアップしていきます。

眼科専門病院として、職員全員には眼科医療に携わるプロとして活躍して欲しいという思いで医師や医療従事者だけでなく、事務職員にも学会や研修等に積極的に参加してもらっています。

そして「医療機器」「外部医療機関」に対しては、既成概念を捨て、法人独自の考え方を持っています。最新の検査機器や手術機器を導入することで最良の医療を提供していますし、大学医局の枠にとらわれず、さまざまな専門医が勤務しており、眼科疾患のほとんどは当院で完結することができます。

これからも、患者さんに「来てよかったあ」と言っていただけるよう『満足のいく医療』を提供できるよう心がけていきたいと思っています。





◆医療法人名世社 白井病院(眼科専門病院)

所在地／香川県三豊市高瀬町上高瀬1339

電話／0875-72-3131

FAX／0875-72-3134

診療時間／8:30～12:00

14:00～16:00(土曜日17:00)

休診日／日曜日・年末年始

正翔会クリニック 江南

理事長 兼 江南院長 長尾 強志 先生

正翔会クリニックは2015年12月に在宅医療を開始し、現在は6カ所の事業所を展開しています。在宅医療をはじめたきっかけは、ある入院患者さん、そのご家族との出会いからでした。退院後は「自宅で療養をしたい」と在宅医療を希望されている方でしたが、まだひとりで生活をしていくには不安があり、日々の生活を支援する医療従事者のサポートが必要でした。そこで家族の代わりになれるような、まるで自宅が病院であるかのようなクリニックがあればと思い、この事業所を作る決意をしました。日常の不安を可能な限り取り除くことを第一に考え24時間365日いつでもご自宅に訪問し、患者さんの健康状態や心のケアを誰よりも理解できるような、家族以上の医療従事者を目指していきたいと思っています。また、今後も必要に応じて連携病院や開放病床を利用して迅速な急性期医療を提供できるよう努めていきたいと思っています。

～私はこれからも関わるすべての方を“仲間”だと思っています～





◆正翔会クリニック 江南

所在地／江南市飛高町栄272番地

電話／0587-81-8126

診療時間／訪問診療 8:00～12:00

13:00～15:00

外来診療15:00～17:00

休診日／水曜日、土曜日外来、日曜日

松波総合病院

病院長 松波 和寿 先生

「地域に必要とされる病院へ」

当院は2014年7月に急性期医療に特化した北館が完成し、災害時の医療体制を整えると同時に、救急・急性期医療の充足を図っています。同時に、手術室を増室することで大動脈瘤、急性心筋梗塞や脳卒中にも24時間迅速に対応できるよう、万全な体制をとっています。

ESなくしてCSなしという言葉がありますが、当院では7階全フロアを医局とし、医師全員が垣根なくコミュニケーションをとることが出来るよう、充実した居住空間を確保しています。その結果、高い専門性を有した指導医たちと若手医師がいつでも気軽に意見交換ができる研修の場にもなっています。様々な専門医と総合診療医に接することでヒト全体を診ることのできる総合医的な能力が若い医師に身につくはずです。

最近、イノベーション(技術革新)推進本部という部署を立ち上げました。地域に貢献すべく、考え方やシステムなど新しい価値観を創造し、日常業務に大きな変化をもたらす重要な部署となります。今後は、職員で決めた3か年ビジョンを実現していきたいと思っています。

【3か年ビジョン】
●地域包括ケアシステムの要として、日本一の民間病院になる。
●誇りを持った職場になる。
●選ばれる病院になる。
●全職員が志を同じくし、常に成長・変化できる組織。





◆松波総合病院

所在地／羽島郡笠松町田代185-1

電話／058-388-0111

FAX／058-388-4711

診療時間／8:00～11:30、14:00～16:30

休診日／土曜日午後、日曜日

祝祭日、年末年始

よしだファミリークリニック

院長 吉田 直優 先生

モットーは「人生を診療にささげる」です。

地域に根差し、生後0歳から90歳をこえる急性期から慢性期まで、すべての患者さんの要望にこたえるという意味で「ファミリー」という名前をつけました。実際に4世代で通ってくれている患者さんもいます。

大学救命救急センターでの経験から、消化器、外科をメインに診療しつつ、地域の救急センター的なイメージを持っています。全ての疾患の入口を守るゲートキーパーとして、また、胃がん、大腸がんなどの悪性疾患の早期発見診断を目指しています。適切な高次医療機関に患者さんを紹介することができるのも、大学時代からの友人や先輩、後輩のおかげです。

今後も地域のご家族全員に愛される医院をめざし、全力を尽くして皆さんのお力になります。予防接種・人間ドック、上部消化管内視鏡検査(経鼻極細胃カメラ)による検診や、ウォーターベッド型マッサージ器など各種機器を多用したリハビリテーションも行っていますので、お身体で気になる事がございましたら、いつでもお気軽にお越しください。





◆よしだファミリークリニック

所在地／岐阜市竜田町7-8-1

電話／058-248-1118

FAX／058-248-1101

診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00

休診日／水曜日、土曜日午後

日曜日、祝祭日

+

医療会員紹介

医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

米倉胃腸科クリニック

理事長 米倉 幸人 先生／院長 米倉 悦子 先生

昭和57年に当地で開院して現在に至ります。消化器疾患(胃腸、肝臓、胆のう、すい臓など)の診断や治療を中心に、一般診療や健康診断、ワクチン接種など行っております。診察は2診察体制で行っております。このようなコロナ感染が心配される状況となってしまいましたので、なるべく院内での待ち時間の少ないように、予約制も併用し診療しております。



当院は、リスク管理、早期発見、早期治療を心掛け、基幹病院との連携をスムーズに行えるように、患者さんの病歴管理などに努めております。当院のみでは解決できないことが起きた場合には、速やかに基幹病院へ紹介し、患者さんの経過が少しでも良くなるようにと、日々診療にあたっています。また検査後の説明も、患者さんに分かりやすく、丁寧に説明することを、心掛けています。これからも、『相談できる地元のクリニック』を目指し、基幹病院や地域診療所との連携を取りながら、地域医療に貢献できるよう努力して参りたいと考えております。

今後とも宜しくお願い致します。



◆米倉胃腸科クリニック

所在地／各務原市鵜沼西町3丁目131

電話／058-370-0781

診療時間／9:00～12:00
16:00～19:00

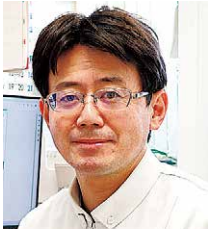
休診日／水曜日、土曜日午後
日曜日、祝祭日

若原整形外科

副院長 若原 和彦 先生

1985年開院38年目を迎えて「安心と満足」をモットーに、地域の皆様に信頼される医療を目指し、日々診療をおこなっています。これまで岐阜大学の整形外科の医局員として、ここ10年は掛斐厚生病院や下呂温泉病院など関連病院の勤務を経て地域医療について学んできました。周辺の病院で手術をした患者さんを積極的に受け入れており、理学療法士4名をおくことで一人ひとり丁寧なリハビリを行っています。また、スポーツ障害にも力をいれており、より細部までよみとることのできる超音波検査を取り入れることで小さなお子様からご年配の方まで幅広く対応することができます。整形について困っていることがあれば、どんなでも気軽にお越しいただければと思います。

今後も地域に密着した「患者様に信頼される医療」を目指していきたいと思います。





◆若原整形外科

所在地／岐阜県掛斐郡大野町黒野117-2

電話／0585-34-3322

診療時間／9:00～12:00
16:00～19:00

休診日／木曜日午後、土曜日午後
日曜日、祝祭日

第8回医療総合支援セミナー
開催報告

現代社会は、急速な変化と先行きの不透明さが増えています。少子高齢化、気候変動、自然災害、新型感染症、生成AIやバイオ技術の革新、そしてZ世代の台頭といった多様な要因が、社会・産業・人々の生活に劇的な影響を与えています。こうした時代において、異質な存在との出会いや、業界・職種・世代を超えた対話が重要であることが再確認されました。未来を担う若い世代と共に未来を描き、築くことが一つの鍵となることが示されました。また、激変する時代には、未来から逆算する「バックキャスト思考」が効果的であるとされました。本講演では、未来シナリオのエッセンスと共創的な対話の方法が共有され、参加者は未来に対する新たな視点を得る機会を得ました。

※今回のセミナーは"オンデマンド"配信でした。

横河電機株式会社

未来共創イニシアチブプロジェクトリーダー

玉木 伸之

Nobuyuki tamaki

第8回医療総合支援セミナー

「未来思考と実践」

～次世代と共に築く未来シナリオ～

1989年横河電機に入社。商品企画、中長期経営戦略の策定に従事。組織横断的なグローバルプロジェクトをリードし、次世代の共創型リーダー育成プログラムを開発。2022年第50回日本救急医学会総会・学術集会にてFUTURE CASTINGセッションの座長。サステナブルな社会実現に向けた共創的な課題解決とリーダー育成に注力。

※ZOOMでの参加も可能です

2024年10月3日 木 19:00～20:00

じゅうろくプラザ5階 小議室2

岐阜市橋本町1-10-11 入場料／1,000円(会員無料)

お申し込みはこちら

info@iryousougoushien.jp

058-230-6451 080-2658-4749

Total Support Organization for Medical Affairs

賛助会員紹介

事業へ賛同していただいた会員の皆様をご紹介します

アナリーズ・コーポレーション

(山田会計事務所マーケティング事業部)

■コンテンツ・マーケティング

- ・貴院と患者さんをスマホでつなぐ!
- ・患者さんに訴求する貴院の特色を検討
- ・貴院の特色をデジタル広告化
- ・ホームページのアクセスログ解析

■セカンド会計顧問

- ・決算申告は現行の会計事務所のままで
- ・月次経営決算書による オンライン経営診断
- ・給与計算等のアウトソーシング受託



https://hp-keiei-shien.net/

TEL:058-215-1855 FAX:058-215-1833

〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室

搬出も重要な役割です。



- ・ホイスは1人の救助に10分かかりますが、ヘリポートがあれば1分で10人救助できます。
- ・病院機能がダウンした場合、他院へ搬送する必要があります。
- ・救急患者の受け入れのみがヘリポートの役割ではありません。

ヘリポートの設置を検討する方は必読!

新刊『新・ヘリポートの造り方』 木下 幹巳 著

発行 エアロファシリティー株式会社

編集・制作 株式会社病院新聞社

A4版・カラー・120頁 定価3000円(税別)

www.aero.co.jp (お問い合わせTEL 03-5402-6810)

ナチュラルミネラルウォーター

機能水・清涼飲料水の製造販売



DMC

奥長良川名水株式会社

岐阜県関市瀬戸東原291番地 TEL:0581-58-9011 FAX:0581-58-9010

☎0120-320-355

奥長良川名水

検索

SUZUKI GROUP



企画・制作 グラフィックデザイン カラーマネジメント プリプレス IRサポート

印刷通販 TIA WEB制作 オンデマンド印刷 映像・動画制作・中継 商業写真撮影

岐阜製版株式会社

〒502-0822 岐阜県岐阜市福田町1丁目30番地

TEL.058-233-1313 FAX.058-233-6248

事業内容

企画・編集・デザイン・組版・Webサイト
撮影・動画制作・製版・印刷製本・物流

印刷を通じて

社会に役立ちたい。

周年事業

社史・記念誌やロゴなど周年記念事業をトータルサポート。

出版印刷

教科書、参考書、社史、読書など様々な印刷・出版をサポートする、出版印刷のプロフェッショナル。

Gifu ebooks

岐阜県・42自治体と契約中!岐阜県に特化した電子書籍ポータルサイトを運営。

太平洋社

本社 岐阜県本巣郡北方町北方148-1
TEL 058-324-2111代 FAX 058-324-2119

東京営業所 東京都千代田区内神田1-12-12 美士代ビル6階
TEL 03-3293-8441 FAX 03-3295-0806

～快適な暮らしをトータルプロデュース～

TOHYAMA

株式会社 トオヤマ



株式会社 トーカイ

〒500-8828 岐阜市若宮町9丁目16番地

TEL 058-263-5111<代表>

「清潔」と「健康」のプロフェッショナルとして、未来を支え続けます。

- ・リースキン事業
- ・調剤薬局事業
- ・介護用品レンタル事業
- ・病院関連事業
- ・アクアクラ事業
- ・ハウスクエア事業
- ・寝具レンタル・リネンサプライ事業

ソフトウェア開発

モバイルアプリ開発

webサイト制作

pakemo

株式会社パケモ

愛知県名古屋市中区葵1丁目14-13

アーク新栄ビルディング8F

052-325-6789

http://pakemo.jp

会員募集

当法人では、医療に関わるあらゆる方の悩みや不安を解決するための支援を行っています。医療会員、またこの活動に賛同する賛助会員を募集中です。是非ご入会をお待ちしております。

現在の医療会員に対する特典

①機関誌に掲載

②ホームページ掲載

③ホームページ作成支援

④セミナー

⑤各研修・講習

問い合わせ先

一般社団法人医療総合支援機構 事務局

MAIL: info@iryousougoushien.jp

TEL:080-2658-4749 FAX:058-230-6451



拾 医療総合支援機構タイムス Vol.9

医療総合支援機構タイムス Vol.9 拾壱

子幸恕也

圖怨及朋友嗚呼與買怨于同袍寧流

夫紅毛之画也至矣哉如余不佞者非敢所

我友人杉田玄白所譯之解體新書成

東羽秋田藩小田



TOPICS

その疲れ、ただの眼精疲労じゃないかも？

視能訓練士が解説する見逃せない目のSOS



記事の内容は
こちらから

あなたは一日の間に、どれくらいの時間スマホやパソコンを見えていますか？
毎日のように仕事で使用しているという方もいれば、休憩時間や空いた時間についつい見ってしまう…という方もいるのではないのでしょうか？

デジタル機器の普及によって私たちの生活は非常に便利になりました。仕事やプライベートだけでなく、教育現場へのタブレットの導入など、急速にデジタル化が進んでいます。しかしその一方で子どもから大人まで、以前よりも「目」を使う時間や機会が急激に増加していることも忘れてはならない現実です。

今回は、気をつけた方がいい目の症状やその対策方法についてわかりやすく解説していきたいと思います。

記事目次

- 1 デジタル社会と「疲れ眼」の現状
- 2 「疲れ眼」と「眼精疲労」の違いとは？
- 3 疲れ眼と病気の境界線
～見逃せない目のSOS～
- 4 疲れ眼を解消するためには？
- 5 まとめ